

「三木市地域公共交通網形成計画」(案) 等に係る各地区住民説明会の開催結果について

(単位：人)

地区名		開催日	参加者数	主な意見・提言内容
1	三木南	1/11(金)	12	<p>○年金生活をしている高齢者にとって、市内バス運賃が一律200円であっても負担が大きい。このため、無料化することはできないのか。</p> <p>⇒三木市のバス交通にかかる補助金額は他市町と比較しても高額で、費用対効果が芳しくない路線は廃止あるいは減便する方向で考えている。ニコパカード利用による市内間移動においても多額の補助をしていることから、利用者のかたがたには一定額の負担をいただきたい。本制度の利用の際には、「200円かかる」ではなく、「200円に収まるよう補助がされている」という考え方をしていただけるとありがたい。</p> <p>○当地区には志染駅のように交通拠点となる場所がないため、三木南交流センターを拠点とすることで交通の流れが分かりやすくなり、目的地にもアクセスしやすくなるのではないか。</p> <p>⇒公民館施設から乗車するというのであれば、地域ふれあいバスの導入が検討できる。公民館を拠点に地域内を運行するため、交通空白地の解消にもつながる。</p>
2	別所	1/11(金)	19	<p>○路線バスの便数が少なく、自宅からバス停までの距離及びバス停から目的地までの距離も遠いことから、高齢者がバスを利用して移動することは非常に困難となっている。</p> <p>⇒高齢者がバス交通を利用しにくい実情にも配慮し、このたびの計画においては、バス交通だけでなく、デマンド型交通の導入及びタクシー運賃助成の拡充等についても検討していく。</p> <p>○タクシー運賃助成等の拡充に当たり、小回りの利くタクシーの有効活用が実現すれば、</p>

				<p>きめ細やかな住民サービスにつながると考える。</p> <p>⇒幹線については路線バスを確保維持する方針であるが、路線バスまでの移動手段としてタクシーの有効活用を検討することは重要であると考え。</p>
3	口吉川	1/18(金)	12	<p>○デマンド型交通を導入するのではなく、地域ふれあいバスの運行を継続してほしい。</p> <p>⇒市としては、地域ふれあいバスの運行を継続することが望ましいと考えている。将来、ボランティアの高齢化による運転者不足も懸念されることから、バス交通の見直し方針（案）には代替案の一例として記載している。</p> <p>○当地区は農村地域であるため、市街地に比べるとバスの本数は極めて少ない。このため、バス利用者数が少ないという理由だけで廃止してほしくない。</p> <p>⇒利用実態だけにこだわらず地域性も考慮した上で、バスの見直しを行っていく。</p>
4	三木	1/20(日)	24	<p>○与呂木青葉台周辺はバスの本数が少なく、極めて不便である。</p> <p>⇒三木循環ルートは一体的な見直しの中で整理統合を行う。この中で、例えば、細川方面から来るバスの一部を与呂木青葉台方面へ付け替えることなども検討しながら、利便性の向上に努めていきたい。</p> <p>○タクシー利用の推進はよい。また、タクシー運賃助成等の対象範囲を広げてほしい。</p> <p>⇒タクシーも公共交通の一員であることから、福祉施策等により今後も利用を促進していく。また、タクシー運賃助成等については、他市の事例等を参考にしながら、三木市に合う助成制度について今後検討していきたい。</p>
5	緑が丘	1/20(日)	32	<p>○北播磨総合医療センター方面行きバスの見直しに当たっては、一律に見直すのではなく、利用者数1人当たり市補助金額が高額となっている路線から先に見直すなど、路線の利用状況等の実情を十分に勘案の上、対応してほしい。</p> <p>⇒評価指標を用い客観的な評価により見直し対象路線を抽出したが、実際の見直しの方法及び程度等については、路線の利用状況等の実情に応じて判断する。</p> <p>○北播磨総合医療センターにおける診察は相当な時間を要するため、診察後の帰宅時間</p>

				<p>帯におけるバス路線はしっかりと確保してほしい。</p> <p>⇒バス交通の見直しに当たっては、診療後の帰宅時間帯におけるバス路線の確保についても配慮する。</p>
6	細川	1/22(火)	17	<p>○細川地域ふれあいバスのネスタリゾート神戸までの延伸を検討してほしい。ネスタリゾート神戸で緑が丘駅等を結ぶ路線バスに乗り換えることもでき、地域ふれあいバスの利便性も向上する。</p> <p>⇒バス事業者や国との調整・承認が必要となる。なかなか難しい案件であることを御理解いただき、今後検討させていただきたい。</p> <p>○J A兵庫みらい豊地支店付近にバスターミナルを整備してはどうか。</p> <p>⇒このような御意見を初めて聞いた。まずは市内部においても周知を図り、今後の参考にさせていただきたい。</p>
7	自由が丘	1/24(木)	24	<p>○高齢者はバスを乗り継ぐことに不便を感じるため、乗継ぎを必要としない市内を環状するような循環ルートを開設してはどうか。</p> <p>⇒市内を乗り換えなく結ぶルートとしては、青山5丁目ルートなどが一例である。</p> <p>○計画（案）の概要版に記載している「モビリティ・マネジメント」の意味を説明してほしい。一般の人には何のことであるのか分からない。</p> <p>⇒過度な自動車利用から電車やバスなどの公共交通を適切に利用する方向に自発的に変化することを促す取組をいう。計画策定後の概要版の中でも、分かりやすいように注釈による補記を検討する。</p> <p>⇒御意見の内容を踏まえ、<u>計画（案）の概要版に「用語解説」欄を設けることとした。</u></p>
8	青山	1/26(土)	34	<p>○運転免許証を返納した場合、バス交通がなければ生活できないため、バス交通をしっかりと確保してほしい。</p> <p>⇒運転免許証の有無により地域住民の移動に格差が生じないように配慮したい。</p> <p>○「青山・緑が丘循環ルート」の今後の見直し検討においては、地域住民も協議に参加</p>

				<p>できるようにしてほしい。</p> <p>⇒地域の要望をしっかりと取り入れるため、地域のかたも市とバス事業者の協議に入っただけよう検討している。</p>
9	吉川	1/26(土)	26	<p>○交通事業者と協議の上、よりよい公共交通網をつくってほしい。デマンド型交通の導入検討には賛成しており、期待もしている。</p> <p>⇒デマンド型交通は利用者の使い方しだいで利用価値が変わってくる。目的地へのアクセスのみならず、路線バスとの連絡など、効果的に活用していただきたい。</p> <p>○一部の吉川地域住民の生活圏は三田方面である。このため、三田市をはじめ、近隣市との連携を図り、各所の観光地等へアクセスしやすい交通網の形成に努めてほしい。</p> <p>⇒交通網の形成に限らず、他市との連携には市全体で取り組んでいきたい。</p>
10	志染	2/2(土)	24	<p>○北播磨総合医療センター方面行きバスを市役所経由とするとともに、市役所をバスターミナルとするよう見直してはどうか。</p> <p>⇒いただいた御意見を参考とするが、市役所のバスターミナル化については道路状況やバスの寄り付きなど、十分な検討が必要となる。</p> <p>○当地区においても、地域ふれあいバスのような地域の助け合いによるシステムが必要ではないか。</p> <p>⇒口吉川地区や細川地区などにおいては地域のボランティアスタッフにより地域ふれあいバスが運行されており、交通空白地における移動手段の確保がなされているところである。志染地区においても、地域ふれあいバスの導入を検討してほしい。</p>
計		—	224	—

注) 開催日順に記載。